

## 第2章-3 中国の古典文明

### 1. 古代文明～殷・周・春秋戦国

#### (1). 古代文明

**黄河文明**・・・黄河流域の黄土地帯の新石器文明。豚・犬・鶏の飼育，粟の栽培。

BC 5千年紀 \_\_\_\_\_文化・・・\_\_\_\_\_ (彩文土器)

BC 3千年紀 \_\_\_\_\_文化・・・\_\_\_\_\_ (黒色磨研土器)

**長江文明**・・・稲作文明圏の形成，<sup>かぼと</sup>河姆渡遺跡など

(2). \_\_\_\_\_ (BC.16c.～ 1027.BC)・・・確認された最古の王朝、**青銅器文化**

\_\_\_\_\_ (=殷後期の都)・・・河南省安陽市

多くの城郭都市 (\_\_\_\_\_ ) を従える

\_\_\_\_\_文字・・・占いの結果を占いに使用した亀甲・獣骨に記す

神権政治・・・王は占いで神意を知り政治を行う

(3). \_\_\_\_\_ (1027～ 256.BC)・・・渭水盆地におこり、殷を滅ぼす。

\_\_\_\_\_ **西周** (～ 771.BC)・・・首都 \_\_\_\_\_ (西安)

※ \_\_\_\_\_ 制度

王室の庶子や功臣を**封建する** (=封土を与えて世襲させ、軍事・貢納の義務を負わせる)

血縁関係を基礎とした主従関係 (⇒西欧や日本は個人の契約関係)

**王** — **諸侯** — **卿**・**大夫**・**士**・・・ここまでが世襲の支配階級

血縁親族が“**宗族**”を形成，“**宗法**”によって身分秩序維持

BC.771 陝西方面から**犬戎**が侵入、鎬京陥落

BC.770 首都を \_\_\_\_\_ (洛陽)に移す・・・**東周** (～ BC.256)

周王の権威は衰え、諸侯の分立割拠状態に

#### (4). 春秋・戦国時代

▶ \_\_\_\_\_ 時代 (770～ 403.BC)・・・\_\_\_\_\_ =諸侯同盟の盟主がしばしば出現

**春秋の五覇**・・・齊・桓公、晉・文公、楚・荘王、秦・穆公、宋・襄公 (呉王・夫差、越王・勾践)

**尊王攘夷** (周王を尊び、異民族の侵入を防ぐ) をとなえつつ争う

▶ \_\_\_\_\_ 時代 (403～ 221.BC)・・・各国とも王を称し周王を無視

BC.403 晋における**下剋上**。韓・魏・趙の自立。

**戦国の七雄**・・・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_

各国内部では**中央集権化** (官僚制、郡県制)

**実力万能**の時代 (=従来の支配階級が没落) → **諸子百家**

#### ▼この時代の社会の変化

農業技術の進歩・・・**鉄製農具**、牛耕

鉄製農具以前・・・小世帯で独立生計営めず、同族集団の共同作業が必要

↓  
鉄器普及・・・小世帯独立・土地私有化，さらに商業発達で貧富の格差増大  
→新興地主の出現 (→秦・漢時代の“豪族”)

商業の発達、**青銅貨幣**の使用・・・**刀銭** (齊)、**布銭** (韓・魏・趙)、**蟻鼻銭** (楚)

(6). \_\_\_\_\_・・・実力の時代に現れた思想家たち

◇ \_\_\_\_\_ 家

▶ \_\_\_\_\_ (551-479)・・・言行録「\_\_\_\_\_」、著書「**春秋**」(魯国の歴史)

\_\_\_\_\_ =「孝」「悌」といった家族道徳を基本とする普遍的な愛

\_\_\_\_\_ =仁を表現する形式

法家的思想が主流になりつつあった時、伝統主義者として出現  
秩序は各人によって自律的に守られなければならないと考えた。

▶ \_\_\_\_\_ (372-289)・・・\_\_\_\_\_ **説**、王道政治 (仁による政治)

▶ \_\_\_\_\_ (315-235)・・・\_\_\_\_\_ **説**、よって礼の習得が必要

◇ \_\_\_\_\_ 家

▶ \_\_\_\_\_ (390-338)・・・秦の孝公に仕える、法治主義=法による秩序維持

▶ \_\_\_\_\_ (280-233)・・・韓の王族、荀子門下、著書「**韓非子**」

▶ \_\_\_\_\_ (280-210)・・・荀子門下、秦の始皇帝に仕え丞相となる

後から仕えた同門の韓非を中傷し投獄・自殺せしむ

◇ \_\_\_\_\_ 家・・・ \_\_\_\_\_ (?)、\_\_\_\_\_ (BC.4c)

“\_\_\_\_\_”・・・政治も無為の治が理想 (ただし“小国寡民”が条件)

◇ \_\_\_\_\_ 家・・・ \_\_\_\_\_ (480-386)

\_\_\_\_\_ (無差別の愛)、\_\_\_\_\_ (利の相互付与)、非攻 (侵略戦争否定)、薄葬

身分秩序に基づく道徳として儒家を批判、礼楽不用を説く

▽ \_\_\_\_\_ 家・・・ \_\_\_\_\_ (305-240)、\_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ 説

世界は5つの元素 (=木・火・土・金・水) と、陰・陽の対立により構成・変化する。

自然だけでなく政治・社会についても適用し呪術的傾向が強く、科学的思想とならず。

▽ \_\_\_\_\_ 家・・・外交政策 (2人とも失敗)

▶ \_\_\_\_\_ (?-317)・・・BC.333 \_\_\_\_\_ に成功=秦以外の6国同盟

▶ \_\_\_\_\_ (?-309)・・・BC.311 \_\_\_\_\_ に成功=6国それぞれと秦の同盟

▽ \_\_\_\_\_ 家・・・ \_\_\_\_\_ (320～ 250) 論理学、詭弁的 (ex.「白馬は馬にあらず」)

“言葉 (名)”と“実体”の関係を分析しようとしていた

▽ \_\_\_\_\_ 家・・・「孫子兵法」(孫武)、「呉子兵法」(呉子)

## 2. 秦・漢

- (1). \_\_\_\_\_ (～206.BC) ……首都 \_\_\_\_\_ (西安の対岸)  
西方伝来の鍛鉄の武器を中国で最初に入手 (農具は鑄鉄)  
BC.256 東周を滅ぼす
- \_\_\_\_\_ (嬴政…BC.247 秦王に即位、～210.BC) 法治主義を採用  
BC.221 全国統一、「皇帝」の称号を用い自ら始皇帝と称す
- <内> { \_\_\_\_\_ ……全国を皇帝直轄地とし36郡設置。封建制廃止。  
\_\_\_\_\_ ……伝統主義の儒家を弾圧  
度量衡の統一、貨幣の統一 (半兩錢)、文字の統一 (篆書)、車軌の統一  
阿房宮、驪山陵 (その地下に「兵馬俑」) の造営
- <外> BC.215/14 將軍蒙恬、\_\_\_\_\_ を討伐し黄河北方を確保  
“ \_\_\_\_\_ ” ……戦国期の諸国の長城を修復しつなぎ合わせる  
(現存のもの大部分は明以降のもの。当時はもっと北のほうにあった。)
- BC.210 始皇帝死、帝国崩壊  
BC.209 \_\_\_\_\_ の乱…農民反乱 (「王侯将相寧有種乎」「燕雀安知鴻鵠之志哉」)
- ▶ \_\_\_\_\_ (楚の將軍)、\_\_\_\_\_ (庶民出身) ら挙兵  
BC.206 劉邦が咸陽入城、秦滅亡。(直後に「鴻門之会」=項羽・劉邦会见)  
BC.202 垓下の戦い…劉邦が項羽を破る。(「四面楚歌」)

- (2). \_\_\_\_\_ (前漢、202.BC～8.AD) ……首都 \_\_\_\_\_ (西安)  
初代 \_\_\_\_\_ (劉邦、202-195.BC) …… \_\_\_\_\_ 制 (直轄地は郡県制、周辺部は封建制)  
→ BC.154 \_\_\_\_\_ ……諸侯の反乱 → 平定後、中央集権化
- 7代 \_\_\_\_\_ (141～87.BC) = 漢の全盛期
- <外> { 北……匈奴討伐 (前半は衛青・霍去病らの戦果、後半は蘇武・李陵らが捕虜に)  
西…… \_\_\_\_\_ を大月氏国に派遣  
→ \_\_\_\_\_ による東西交易…絹など輸出、ガラスなど工芸品輸入  
東……BC.108 \_\_\_\_\_ を滅ぼし4郡設置 ( \_\_\_\_\_、玄菟、真番、臨屯)  
南……BC.111 南越に9郡設置 (日南、南海 etc.)
- <内> { 実質的に郡県制の全国化  
儒学の官学化…… \_\_\_\_\_ による。BC.137 五経博士を設置。  
\_\_\_\_\_ ※五経…「詩経」「書経」「易経」「春秋」「礼記」  
官吏登用法…… \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ 地方長官が儒学の徳目に優れた人材を推薦→豪族の子弟が推薦される。  
財政再建策……成功せず  
・塩、鉄、酒の専売  
・ \_\_\_\_\_ (物資を多く産する所で買上げ、不足している所に転売)  
・ \_\_\_\_\_ (物資を多く産する時に買上げ、不足している時に転売)

※ \_\_\_\_\_ (皇后の一族)・ \_\_\_\_\_ (後宮に仕える去勢した男子下人) による権力闘争  
=このあとも、王朝の末期症状にお決まりのパターン

- (3). \_\_\_\_\_ (AD.8～23) …… \_\_\_\_\_ (元帝の皇后王氏の一族) が帝位を奪う  
\_\_\_\_\_ 神秘化した儒家思想利用、しかし周を理想とする政策は時代遅れ  
AD.18 \_\_\_\_\_ ……農民反乱  
AD.22 劉玄・劉秀ら挙兵、豪族・農民反乱軍統合→翌年、王莽殺され新滅亡
- (4). \_\_\_\_\_ (25～220) ……首都 \_\_\_\_\_  
初代 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_, 25～57) ……豪族連合政権
- ▶ 初めは内政重視だったが、国力回復とともに対外積極策に
- 北……48頃、匈奴南北分裂 → 南匈奴を服属させ北匈奴を討つ  
西……西域都護 \_\_\_\_\_、50余国を服属させる  
97 班超の部下 \_\_\_\_\_、大秦国 (ローマ) に派遣され、 \_\_\_\_\_ (パルティア) を経て条支国に至る  
東……57 「倭奴国奉貢朝賀、光武賜以印綬」→ 志賀島の金印  
南……166 \_\_\_\_\_ の使者が日南郡 (ヴェトナム) に来る  
(マルクス・アウレリウス・アントニヌス)
- ▶ 外戚・宦官による権力闘争  
166/69 \_\_\_\_\_ ……宦官勢力が知識人らを弾圧し官界から一掃
- ▶ 184 \_\_\_\_\_ の乱……太平道の首領 \_\_\_\_\_ による農民反乱 (→「三国志」の時代へ)
- (5). 漢代の文化  
秦漢 400年の統一による中国文化の基礎確立 (集大成の時代)
- ▶ 儒学……官学化で \_\_\_\_\_ 学 (経典の字句解釈)、後漢末の \_\_\_\_\_ ら
- ▶ 歴史……正規の歴史書の形式として \_\_\_\_\_ (本紀、列伝からなる)  
武帝期…… \_\_\_\_\_ 「 \_\_\_\_\_ 」  
後漢 …… \_\_\_\_\_ 「 \_\_\_\_\_ 」
- ▶ 工芸…… \_\_\_\_\_ の発明  
AD.100頃、宦官 \_\_\_\_\_ による (これ以前にも紙はあったが包装用だった。)

## 第3章－1. 内陸アジア遊牧民

- ①. BC 6 c. \_\_\_\_\_人 (イラン系) ……南ロシア、遊牧騎馬文化、金属器文化
- ②. BC 2 c. \_\_\_\_\_ (トルコ系 or モンゴル系)  
(前漢) 全盛期…… \_\_\_\_\_ (位 209-174.BC)  
甘肅地方から月氏を追い、シルクロード制す  
↓  
\_\_\_\_\_ ……甘肅から追われ → さらに烏孫に追われ (※月氏の西遷)  
→ 大月氏国 (BC.140-AD.1c)  
\_\_\_\_\_ ……天山山脈北側
- ③. 2～4 c. \_\_\_\_\_ (モンゴル系 or トルコ系)  
(後漢～三国) 五胡十六国時代に南下し中国侵入。華北制圧し北魏を建国
- ④. 5 c. \_\_\_\_\_ (モンゴル系)  
(南北朝)
- ⑤. 6～7 c. \_\_\_\_\_ (トルコ系)  
(隋・唐初期) 中央アジアからモンゴル草原にわたる大帝国→東西分裂
- ⑥. 8 c. \_\_\_\_\_ (トルコ系) 安史の乱の際、唐を助ける  
(唐後期) ↓  
840年、キルギス(トルコ系)の攻撃で滅ぶ

## 第3章－2 中国の分裂 (“門閥貴族”の時代)

### (1). 後漢の滅亡

- 184 黄巾の乱以後＝歴史物語「三国志」の時代  
189 袁紹、宦官を誅殺。その直後、山西より董卓が入洛し首都洛陽制圧。  
192 董卓、部下の呂布に殺され関中混乱。曹操挙兵。  
196 曹操、献帝を許に擁す。屯田制開始。  
200 官渡の戦い……曹操、袁紹を破る。  
208 赤壁の戦い……孫権・劉備の連合軍、曹操を撃退。  
214 劉備、成都に入る。天下三分。
- 220 \_\_\_\_\_ (155-) 死去。子の曹丕、後漢の献帝より禪讓を受ける。後漢滅亡。

### (2). 三国時代

- ◆ \_\_\_\_\_ (220～265、洛陽) …… \_\_\_\_\_ (文帝)  
大將軍 司馬懿 (仲達、179-251)  
官吏任用制度……九品中正 (220、→後述)  
土地制度…… \_\_\_\_\_ 制  
後漢末の混乱で人口減少 → 土地に労働力を割り当て生産向上図る
- ◆ \_\_\_\_\_ (221～263、成都) …… \_\_\_\_\_ (161-223、昭烈帝)  
丞相 諸葛亮 (孔明、181-234、「出師之表」)  
234 五丈原の戦い……魏 (司馬懿) VS 蜀 (諸葛亮)  
諸葛亮、陣中に病死 → 「死せる孔明、生ける仲達を走らす」  
263 魏、蜀を滅ぼす。
- ◆ \_\_\_\_\_ (222～280、建業) …… \_\_\_\_\_ (182-252、大帝)

- (3). \_\_\_\_\_ (西晋、265～316) …… \_\_\_\_\_ (武帝、265-90)、首都 \_\_\_\_\_  
280 呉を滅ぼし全国統一。

<土地・税制>…… \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ 法 (280 統一後)  
占田 (身分に応じて土地所有制限)、課田 (耕作ノルマ)  
おそらく、所有地面積が「課田」の分に満たない者には不足分を支給。  
(できるだけ多くの労働力を土地に割り当てるため)  
田租は、実際に耕作した面積に関係なく「課田」の分だけ徴収。＝貴族に有利

<内> 中央集権化せず、一族を各地の王に封建する。  
290～306 \_\_\_\_\_ …… 部下の貴族に操られた諸王の権力闘争

<外> 異民族の侵入  
311～16 永嘉の乱…… 山西の匈奴が、洛陽・長安を陥落さす。  
316 西晋滅亡、晋室は江南へ逃れる。

(4). 江南の漢人貴族国家～南朝

\_\_\_\_\_ (317～420) …… \_\_\_\_\_ (元帝、317-22)、首都 \_\_\_\_\_ (南京)  
華北からの亡命名門貴族中心の国家。華北から江南へ人民大移動。

↓  
南朝 …… \_\_\_\_\_ (420-79) → \_\_\_\_\_ (479-502) → \_\_\_\_\_ (502-57) → \_\_\_\_\_ (557-89)  
建康を首都に4つの王朝。門閥貴族全盛期

※ \_\_\_\_\_ (九品官人法、220年、魏が制定した官吏登用制度)  
一品から九品の9ランクに全ての官職を位置づける(官品相当の制)  
各地に中正官をおき、人物の郷評を調べ、品状を提出させる  
状 …… 推薦理由、父祖の地位等を記す内申書  
郷品 …… 一品から九品、その人物がどこまで出世可能かを示す  
→ まず郷品から四品下の官職に任命される

↓

“ \_\_\_\_\_ ” の確立 …… 「門地二品」 = 郷品において二品を与えられる家柄が固定  
王氏 (琅邪臨沂)、謝氏 (陳郡陽夏)、范氏 (涖陽) etc.  
「上品に寒門なく、下品に勢族なし」

(5). 華北の異民族国家～北朝

▶ \_\_\_\_\_ 時代 (304～439) …… 華北に異民族による多くの国家が興亡  
五胡 …… \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ (北方系), \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ (チベット系)

↓  
▶ \_\_\_\_\_ (386～534) …… 鮮卑の拓跋氏、首都・平城。439 太武帝が華北統一。

\_\_\_\_\_ 帝 (471-99) …… 漢人官僚の意見を入れ、農耕社会の安定を図る

485 \_\_\_\_\_ …… 農民に土地を支給し、租・調などの税を課す  
生産回復のため **奴隸・耕牛にも土地支給** (→ 貴族に有利)  
(→ 隋唐では奴隸・耕牛へは支給せず)

486 \_\_\_\_\_ …… 戸籍明確化のための隣組制度  
1党 = 5里 = 25隣 = 125家、それぞれ長を置き納税責任

493 \_\_\_\_\_ 遷都 …… 漢語・漢服、中国風1字姓に改姓  
※ 民族のアイデンティティを喪失。北魏は「征服王朝」ではない。

535 北魏、東西分裂 東魏 (535-50) → \_\_\_\_\_ (550-77)  
西魏 (535-57) → \_\_\_\_\_ (557-81)

\_\_\_\_\_ …… 西魏の兵農分離制、府兵は課役免除し農民と区別。  
↓ (→ 隋唐では同名だが兵農一致の制度になる)

軍人貴族の序列が確立  
→ 隋唐の支配階級 (閥隴集團)  
かんろう

577 北周・武帝、北齊を滅ぼし華北統一  
581 北周から隋に禅譲

(6). 南北朝の文化 = \_\_\_\_\_

江南の貴族文化 (六朝 = 吳・東晋・宋・齊・梁・陳) …… 門閥貴族自身が文化人  
宋以後は軍人皇帝が下級官僚と結びついており、貴族は実際政治からは遊離

※ \_\_\_\_\_ の風 …… 老荘的無為を尊ぶ風潮 (タテマエの世界では儒学重視)  
「清」の概念の究極 …… 魏晋期の「竹林の七賢」(阮籍など)

▶ 詩文 …… 形式重視 = \_\_\_\_\_ (4字句・6字句を好む、対句の多用 etc.)

- ・ 梁の \_\_\_\_\_ (蕭統 501-31) …… 「 \_\_\_\_\_ 」 (当時の名文集) を編纂
- ・ \_\_\_\_\_ (385-433)
- ・ \_\_\_\_\_ (365-427) …… 田園詩人、「歸去來辭」「桃花源記」

▶ 書道 …… \_\_\_\_\_ (307-65、「蘭亭序」、「書聖」)

▶ 絵画 …… \_\_\_\_\_ (344-405、「女史箴図」、「画聖」)

▶ 仏教 …… 漢代に伝来 → 4世紀の社会混乱の中で一般に広まる

- ・ 西域の僧 \_\_\_\_\_ (ブトチンガ、?-348) …… 310 洛陽に来る  
\_\_\_\_\_ (クマーラジーヴァ、344-413) …… 亀茲王の甥  
長安に来て経典を漢訳

・ 東晋の僧 \_\_\_\_\_ (337-422) …… グプタ朝のインドへ  
陸路インドへ、海路帰国。旅行記「 \_\_\_\_\_ 」

・ 仏教遺跡 …… \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ ・ \_\_\_\_\_ etc. の石窟寺院

▶ 道教 …… \_\_\_\_\_ (363-448)  
民間信仰の組織化、 \_\_\_\_\_ = 道教寺院の設立

※ 廃仏 …… 仏教に対する道教勢力の巻き返し  
**三武一宗の法難** …… 道教と結びついた皇帝による仏教弾圧  
北魏・太武帝 (446)、北周・武帝 (574-5)  
唐・武宗 (845)、後周・世宗 (955)